

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年12月04日

計画の名称	国分寺市公共下水道事業における安全で快適なまちづくり（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成27年度～平成30年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	国分寺市												
計画の目標	首都直下型地震を見据えて、公共下水道事業において下水道が有すべき機能の必要性から、下水道施設の向上を図るべき施設について、下水を流す溜める、処理するという基本的な機能の確保を図っていく。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	190	A	190	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
1	早期に地震対策が必要な防災拠点からの流出管きょ施設及び流下収集に重要な管きょ施設の地震対策実施率を11%（平成26年度当初）から100%（平成30年度末）まで増加させる。			
	重要路線の地震対策実施率	11%	45%	100%
	地震対策が必要な重要管きょの内、耐震化または減災対策が行われている延長（km）／地震対策が必要な重要管きょの延長（km）			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－
総合地震対策計画								

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	国分寺市	直接	国分寺市	管渠（ 合流）	改築	下水道施設耐震化事業（ 人孔浮上抑制工事）	下水道総合地震対策計画によ る管きよ耐震化工事	国分寺市	■	■	■	■		190		策定済	
		総合地震対策計画																		
											小計						190			
											合計						190			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事後評価の実施時期

行政改革推進委員会（市民と識見者により組織する諮問機関）にて事業内容及び実施結果を報告し、審査を受け、了承を得る。

令和元年10月

公表の方法

国分寺市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

「計画の成果目標」のとおり重要な管路施設の浮上対策を実施し、早期に地震対策が必要な管きょ約16kmの耐震化を実現した。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

本計画に引き続き、国分寺市の下水道事業において「心安らぐ快適なまち」を実現するために、平成30年度に策定した整備計画「国分寺市公共下水道事業における安全で快適なまちづくり（防災・安全）（Ⅱ期）」により、計画的かつ効率的な管路施設の維持管理を行っていく。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	早期に地震対策が必要な管きよ施設の地震対策実施率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%